

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和4 6月 日	
浜松市長 殿	
提出者	
住 所	浜松市浜北区小松2675-3
氏 名	有限会社義建 代表取締役 村松義人
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	053-555-1033
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	浜松市内各現場
事業場の所在地	浜松市内各現場
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高 (令和3年度実績) 45,000千円
③従業員数	20名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

						合計
動物の ふん尿	動物の死体	ばいじん	13号廃棄物	安定型混合	管理型混合	
0.00	0.00	0.00	0.00	199.92	39.94	6459.04t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
0.00	0.00	0.00	0.00	199.92	39.94	6459.04t
				197.44	39.94	424.70t
						5836.01t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
						0.00t
0.00	0.00	0.00	0.00	200.00	40.00	6470.00t
				190.00	40.00	390.00t
						4804.00t
						0.00t
						0.00t

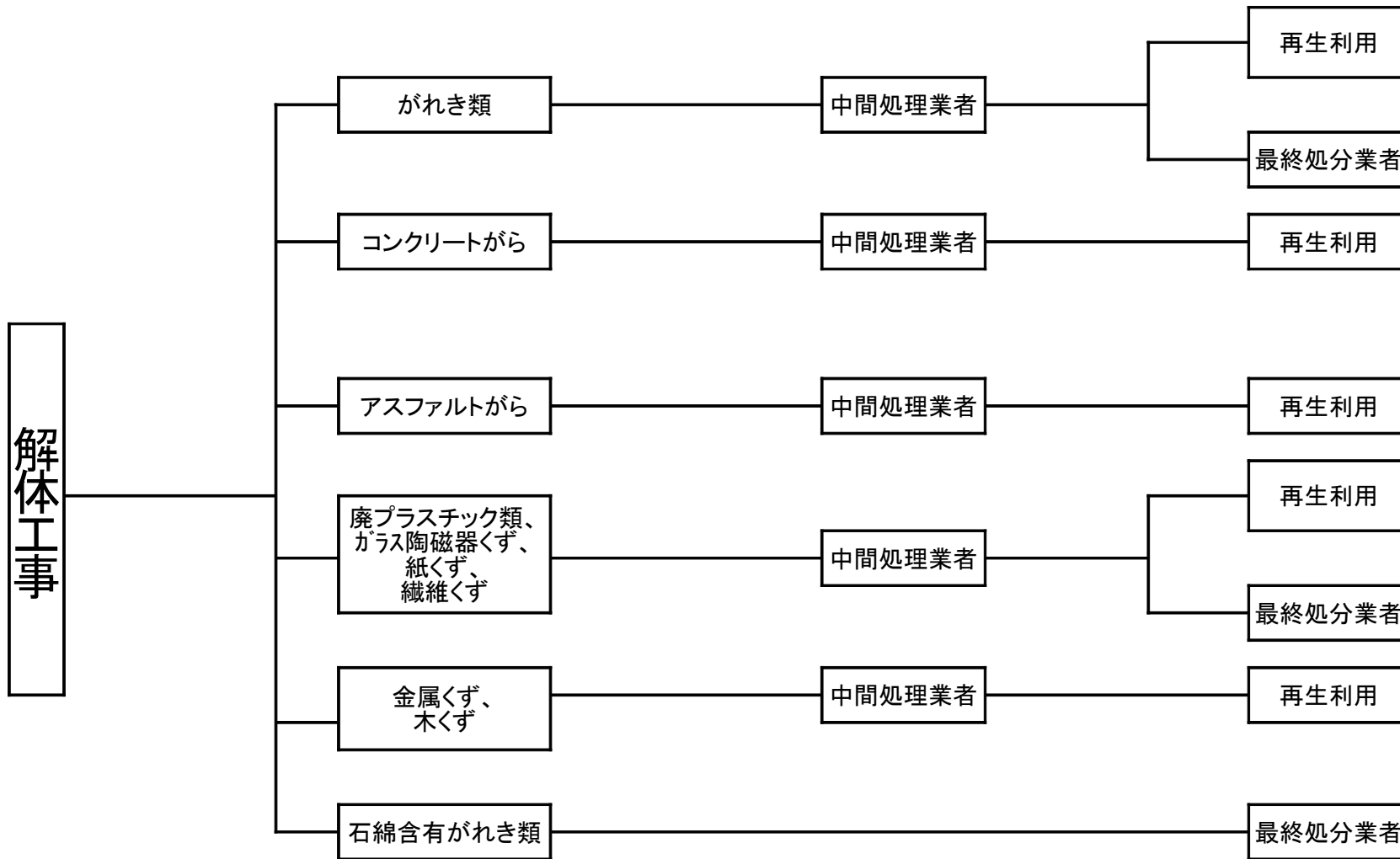
	これまでに実施した取組	今:
産業廃棄物の排出の抑制に関する取組	なし	なし
分別に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・選別作業員の確保 ・各現場への分別用コンテナの設置 ・ミンチ解体の禁止 ・作業員の周知徹底 ・作業員の教育(情報交換・建設リサイクル法の再教育) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業員の周知徹底 ・作業員の教育(情
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する取組	なし	なし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する取組	なし	なし
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する取組	なし	なし
産業廃棄物の処理の委託に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・処分場の視察 ・インターネットでの情報収集 ・責任者会議での情報伝達(教育) (月1回) ・優良認定処理業者への搬出 ・年1回、処理委託業者の処分場を視察する ・再生利用業者への搬出 	<ul style="list-style-type: none"> ・優良認定処理業者 ・委託業者の審査を ・再生利用業者への

後実施する予定の取組

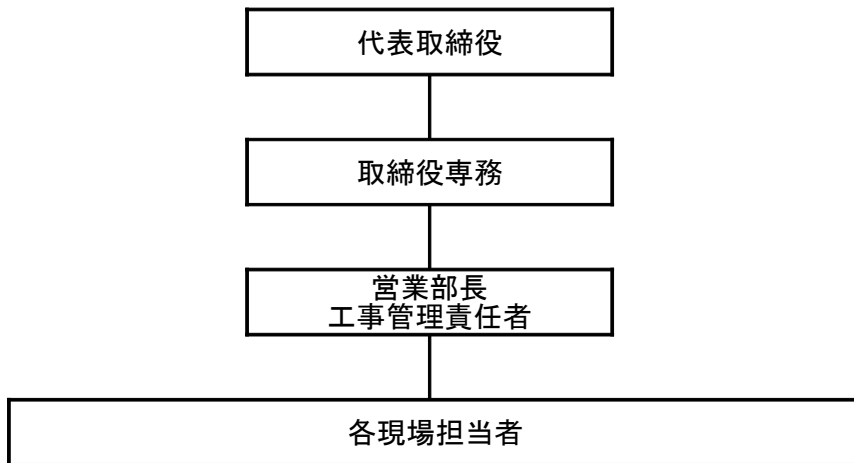
も
報交換・建設リサイクル法の再教育)

への搬出を増やす
より綿密に行う
の搬出

(別紙2) 産業廃棄物の一連の処理工程



(別紙2)管理体制図



産業廃棄物処理計画書	
年 月 日	
浜松市長 殿	
提出者	
住所	浜松市中区元城町103-2
氏名	家康建設株式会社 代表取締役 徳川 家康
<small>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</small>	
電話番号	053-453-6110
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	浜松市内各現場
事業場の所在地	浜松市内各現場
計画期間	年4月1日 ~ 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高(令和 年度実績) 100,000千円
③従業員数	20人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

押印不要

浜松市内に複数の現場(工事現場など)があるときは、各現場と記載してください。浜松市内に複数の事業場(支店など)がある場合には、事業場ごとに分けて作成してください。

ブルダウンリストから選択してください。

製造業の場合における製造品出荷額、建設業の場合における元請完成工事高、医療機関の場合における病床数等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。

(日本産業規格 A列4番)

大分類
農業・林業
漁業
鉱業・採石業・砂利採取業
建設業
製造業
電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業
運輸業・郵便業
卸売業・小売業
金融業・保険業
不動産業・物品賃貸業
学術研究・専門・技術サービス業
宿泊業・飲食サービス業
生活関連サービス業・娯楽業
教育・学習支援業
医療・福祉
複合サービス業
サービス業(他に分類されないもの)
公務(他に分類されるものを除く)

入力様式1、2の他に、(別紙1)一連の処理の工程と、(別紙2)管理体制図を作成してください。
様式は自由ですが、個人情報には載せないでください。

		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	石綿含有廃プラスチック	紙くず	
前年度実績	① 産業廃棄物発生量(t)		100.00				220.00		9.00	
	自ら処理	② 自ら直接再生利用した量								
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量								
		④ 自ら中間処理した量		100.00						
		⑤ ④のうち熱回収を行った量								
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量		40.00						
		⑦ 自ら中間処理により減量した量		60.00						
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量								
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量								
		処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		40.00				220.00	
	⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量							220.00		9.00
	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量									
	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量									
	⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量									9.00
今年度計画	① 産業廃棄物発生量(t)		100.00				200.00		10.00	
	自ら処理	② 自ら直接再生利用する量								
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量								
		④ 自ら中間処理する量		100.00						
		⑤ ④のうち熱回収を行う量								
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量		40.00						
		⑦ 自ら中間処理により減量する量		60.00						
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量								
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量								
		処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		40.00				200.00	
	⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量							150.00		
	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量									
	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量									
	⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量									10.00

実施状況報告書を提出する場合は、実施状況報告書の前年度実績欄と同じ数字を記入してください。

自ら中間処理する場合は、合計が排出量と合うよう注意してください。

優良認定業者や甲含め、処分業者へを記載します。記載例は処理委託、150tは優良認定している場合のも

入力様式1、2の他に、(別紙1)一連の処理の工程と、(別紙2)管理体制図を作成してください。
様式は自由ですが、個人情報には載せないでください。

産業廃棄物の種類

		木くず	繊維くず	動植物性 残さ	動物系固 形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コ ンクリートくず ・陶磁器くず	石綿含有ガラ スクず・コンク リートくず・陶 磁器くず	
前年度 実績	① 産業廃棄物発生量(t)	490.00						310.00	10.00	
	自ら 処理	② 自ら直接再生利用した量								
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量								
		④ 自ら中間処理した量								
		⑤ ④のうち熱回収を行った量								
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量								
		⑦ 自ら中間処理により減量した量								
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量								
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量								
		処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	490.00						310.00
	⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量		490.00							10.00
	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量		490.00						310.00	
	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量									
	⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量									
今年度 計画	① 産業廃棄物発生量(t)	500.00						300.00	100.00	
	自ら 処理	② 自ら直接再生利用する量								
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量								
		④ 自ら中間処理する量								
		⑤ ④のうち熱回収を行う量								
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量								
		⑦ 自ら中間処理により減量する量								
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量								
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量								
		処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	500.00						300.00
	⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量		500.00							100.00
	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量		500.00						300.00	
	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量									
	⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量									

再生利用業者を
委託した総量
200tのう
ち優良認定業者へ委託
のです。

石綿含有ガラスくず、廃石膏ボードなどは、分けて記入頂けませんが、産業廃棄物の「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」に分類されるため、別紙3や第2面以降では「ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず」の項目に合計値が記載されます。

入力様式1、2の他に、(別紙1)一連の処理の工程と、(別紙2)管理体制図を作成してください。
様式は自由ですが、個人情報には載せないでください。

		廃石膏ボード	鉱さい	廃アスファルト	廃コンクリート	その他がれき類	石綿含有がれき類	動物のふん尿
前年度実績	自ら処理	① 産業廃棄物発生量(t)	450.00					
		② 自ら直接再生利用した量						
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量						
		④ 自ら中間処理した量						
		⑤ ④のうち熱回収を行った量						
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量						
		⑦ 自ら中間処理により減量した量						
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量						
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量						
	処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	450.00					
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	450.00					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量						
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量						
今年度計画	自ら処理	① 産業廃棄物発生量(t)	500.00					
		② 自ら直接再生利用する量						
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量						
		④ 自ら中間処理する量						
		⑤ ④のうち熱回収を行う量						
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量						
		⑦ 自ら中間処理により減量する量						
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量						
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量						
	処理委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	500.00					
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	500.00					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量						
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量						

入力様式1、2の他に、(別紙1)一連の処理の工程と、(別紙2)管理体制図を作成してください。
様式は自由ですが、個人情報には載せないでください。

		動物の死体	ばいじん	13号廃棄物	安定型混合	管理型混合	合計	
前年度 実績	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)			30.00		1619.00t	
		② 自ら直接再生利用した量					0.00t	
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量					0.00t	
		④ 自ら中間処理した量					100.00t	
		⑤ ④のうち熱回収を行った量					0.00t	
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量					40.00t	
		⑦ 自ら中間処理により減量した量					60.00t	
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量					0.00t	
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量					0.00t	
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量				30.00		1559.00t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						729.00t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量						1250.00t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量						0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量						9.00t
今年度 計画	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)					1710.00t	
		② 自ら直接再生利用する量					0.00t	
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量					0.00t	
		④ 自ら中間処理する量					100.00t	
		⑤ ④のうち熱回収を行う量					0.00t	
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量					40.00t	
		⑦ 自ら中間処理により減量する量					60.00t	
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量					0.00t	
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量					0.00t	
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量						1650.00t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						750.00t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量						1300.00t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量						0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量						10.00t

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
産業廃棄物の排出の抑制に関する取組	分別を徹底し再利用に努めた。 紙、プラスチックはできる限り分別し有価売却した。	引き続き分別を徹底する。 包装を簡素化する。
分別に関する取組	各事業場の混合廃棄物の発生量を5t以下に抑えた。 廃棄物の分別表を作成し、従業員に周知徹底した。	各事業場の混合廃棄物の発生量を4t以下に抑える。 廃棄物の分別に関する教育を行っていく。
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する取組	なし	なし
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する取組	脱水機を導入し、汚泥を脱水した。	引き続き、汚泥を脱水する。
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する取組	なし	なし
産業廃棄物の処理の委託に関する取組	できるだけ再生利用業者を選定するようにした。	再生利用が難しい廃棄物については、優良認定業者を選定するようにする。

別紙3		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず
前年度 実績	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)						6.41	0.30
		② 自ら直接再生利用した量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量							
		④ 自ら中間処理した量							
		⑤ ④のうち熱回収を行った量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量した量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量						6.41	0.30
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						6.41	0.30
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量							
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							
今年度 計画	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)							
		② 自ら直接再生利用する量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量							
		④ 自ら中間処理する量							
		⑤ ④のうち熱回収を行う量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量する量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量						7.00	1.00
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量						7.00	1.00
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量							
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							

別紙3		産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	動植物性 残さ	動物系固 形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラスくず・コ ンクリートくず ・陶磁器くず
前年度 実績	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)	1157.88	7.98				3.96	117.30
		② 自ら直接再生利用した量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量							
		④ 自ら中間処理した量							
		⑤ ④のうち熱回収を行った量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量した量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1157.88	7.98				3.96	117.30
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量	2.75	0.86				3.96	91.35
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	1155.88	7.12					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							
今年度 計画	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)							
		② 自ら直接再生利用する量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量							
		④ 自ら中間処理する量							
		⑤ ④のうち熱回収を行う量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量する量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	1160.00	8.00				4.00	120.00
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量	3.00	1.00				4.00	90.00
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	116.00	8.00					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							

別紙3		産業廃棄物の種類	鋳さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	13号廃棄物	混合廃棄物
前年度 実績	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)		4925.36					239.86
		② 自ら直接再生利用した量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量							
		④ 自ら中間処理した量							
		⑤ ④のうち熱回収を行った量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量した量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		4925.36					239.86
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量		81.70					237.38
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量		4673.02					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							
今年度 計画	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)							
		② 自ら直接再生利用する量							
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量							
		④ 自ら中間処理する量							
		⑤ ④のうち熱回収を行う量							
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量							
		⑦ 自ら中間処理により減量する量							
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量							
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量							
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量		4930.00					240.00
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量		54.00					230.00
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量		4680.00					
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量							
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量							

別紙3		産業廃棄物の種類	合計
前年度 実績	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)	6459.04t
		② 自ら直接再生利用した量	0.00t
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入した量	0.00t
		④ 自ら中間処理した量	0.00t
		⑤ ④のうち熱回収を行った量	0.00t
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	0.00t
		⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.00t
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	0.00t
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入した量	0.00t
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	6459.04t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量	424.70t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	5836.01t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量	0.00t
今年度 計画	自ら 処理	① 産業廃棄物発生量(t)	0.00t
		② 自ら直接再生利用する量	0.00t
		③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入する量	0.00t
		④ 自ら中間処理する量	0.00t
		⑤ ④のうち熱回収を行う量	0.00t
		⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	0.00t
		⑦ 自ら中間処理により減量する量	0.00t
		⑧ 自ら中間処理した後再生利用する量	0.00t
		⑨ 自ら中間処理した後埋立処分又は海洋投入する量	0.00t
	処理 委託	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	6470.00t
		⑪ ⑩のうち優良認定業者への処理委託量	390.00t
		⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	4804.00t
		⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
		⑭ ⑩のうち⑬以外の熱回収業者処理委託量	0.00t

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量		t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量		t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">・選別作業員の確保・各現場への分別用コンテナの設置・ミンチ解体の禁止・作業員の周知徹底・作業員の教育(情報交換・建設リサイクル法の再教育)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <ul style="list-style-type: none">・作業員の周知徹底・作業員の教育(情報交換・建設リサイクル法の再教育)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。